



(有)ヒマール代表
伊藤克彦様

～ ネパールでの学校建設 ～



先程ご紹介を受けました通り、今ではネパール一色のネパール馬鹿というような関係の仕事をしております。元々は技術屋でして、初めはこのような商業的なものに入るのは非常に抵抗がありました。

やっていくうちにネパールの子供達が気になるようになりました。子供達の生活を見てますと、日本では義務教育という形で行われていますが、ネパールでは名ばかりの義務教育で、地方の子供達はほとんど学校へは行っていません。

水道がないので、水を汲み出してくる事を家の仕事としてやっているのです。国が徐々に簡易水道(共同水場)を作り始めてはいます。

〔 新しく学校を建設するのではなく、現在青空教室で勉強している子供達に、屋根付きの教室を送る事に着眼。ネパールに行って候補地の調査。首都カトマンズより西30km離れたコカナ村を視察。 〕

- 1998年10月 候補地の調査。決定後、コカナ村の村開発委員会と覚書書を交わす。
- 1998年12月 第一期工事開始
- 1999年02月 基礎工事と1階部分の完成による贈呈式に参加
- 2000年02月 2階部分の完成による贈呈式に参加
- 2001年02月 3階部分の完成による贈呈式に参加



コカナ村の学校は、生徒数が700名が教室で学べるのが400名だけで、300名が青空で勉強していたが、1教室50名収容を6教室の完成で青空教室がなくなりました。この学校建設にあたっては、部落の村民と生徒たちの総動員で完成したものです。

ネパールには学校に行きたくても、生活のために働かなければならない子供がたくさんいます。たった15,000円で、一年間一人の子供を学校に送ることが出来ます。

教育を積んだ若いネパール人が立ち上がって、一人でも多くの貧しい子供たちを学校に行かせたいと考えを同じにするものが集まり、仕事の合間を見ながら無報酬で活動をしています。

1996年に発足して、これまでに350人の子供を学校に送り込んでいますが、ほとんど日本人が里親になっています。



落成記念 2001.2.8 静岡けやきライオンズクラブ

委員会報告

■親睦委員会(高橋委員長)
3月2日/米山奨学生ズンさんの壮行会(ザ・さくらまつり)
参加費3,000円

出席報告..... 杉山 貴章 副委員長

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	1/19	50名	32名	6名	—	2名	93.0%
前 回	1/26	49名	27名	10名	81.0%	(3名)	%
本 日	2/ 2	49名	29名	8名	83.0%	(名)	—